

30秒間に詰め込んだわが町自慢

◎ふるさとCM大賞えひめ2017

ステージに立つ日吉中一研CM班



「ふるさとCM大賞えひめ2017」は2月12日、松山市総合コミュニティセンターで開催されました。県内全市町が、30秒間に町の魅力や自慢を詰め込んだCMが勢ぞろいした本審査会。今回、本町からは「鬼北を愛する会」が製作した「続ぞく・鬼嫁」と、「日吉中一研CM班」が製作した「Hiyoshi紹介伝」の2作品が出品されました。今年は惜しくも受賞を逃しましたが、それぞれが趣向を凝らしたステージパフォーマンスを披露し、CMと併せて鬼北町の魅力をPRしていました。この公開審査会は愛媛朝日テレビ主催。

人間として生まれたことに誇りを持って

◎泉小学校人権について考える集い

手話を交えて熱演する宮内さん



2月7日、泉小学校で「人権について考える集い」が行われました。「人間っていいな」と題し、四国中央市新宮少年自然の家所長・宮内則人さんを講師に迎えて行われた本講演会。宮内さんは、歌や一人芝居を交えながら、昔話や漫画を題材としたユーモア溢れる内容で、笑いあり涙ありの講演を行いました。また、宮内さんは「人間は、考え方次第で素敵な毎日になる。二度とない人生。一人一人が命を輝かせながら、素敵な人生を歩んでほしい」と、児童たちに優しく語りかけていました。

みんなが笑顔で暮らせる社会に…

◎人権を考える集い

穏やかに語りかける奥山さん



「人権を考える集い」は2月12日、広見体育センターで開催されました。今年は、女優でタレントの奥山佳恵さんを講師に迎え、「生きていくだけで100点満点!」と題して行われた本講演。時折、会場の親子連れに声をかけるなど親近感溢れる語り口と雰囲気の中、ダウン症である次男・美良生くんが生まれたときの家族の心境から、これまでの家族の日々を赤裸々に語り、ダウン症への理解を求めています。また、奥山さんは「どんな子どもが生まれてきても大丈夫な社会になってほしい」と、来場者に訴えました。

1人1人の願いを込めて舞い踊る

◎節安花とび踊り

会員たちが力強い舞いを披露



2月12日、大村集会所「父野川上」で、町指定無形民俗文化財に指定されている「節安花とび踊り」が奉納されました。「節安花とび踊り」とは、安産、家内安全や地区の安泰を祈願して奉納されるもの。伝説によると、戦国の頃、難産で苦しむ高貴な落人を救うため、節安地区の農民らが踊ったのが始まりと言われ、現在まで伝承されています。例年、節安薬師堂で奉納されていますが、今年は積雪のため、場所を最寄りの集会所に変更して開催。会員たちは、訪れた人たちにそれぞれの願いを胸に太刀を振りかざし、勇壮な舞いを披露していました。